

藤原 力、矢田 貴子、永井 亜樹

発表テーマ

社会科副読本「わたしたちの座間」の改訂と活用

1 研究の経緯

この研究会は平成24年度より発足し、副読本の改訂を始めた。平成23年度の新学習指導要領の完全実施により、教科書の内容が大幅に改訂されたことで、副読本の内容と合わない部分や足りない部分が増えてしまった。そこで、単元の入替えや足りないページを作成していくことにした。そして、ただページを作るだけでなく授業案やワークシートも合わせて作成することで、先生方が活用しやすくなるのではないかと考え、研究を進めていった。

2 研究の内容

副読本を改訂していく上で、次の3つのポイントを大事にして改訂していくことにした。①教科書（教育出版）とのつながりを大事にする。②図や写真を多く取り入れ、視覚的に分かりやすいようにする。③授業で使う指導計画やワークシートも合わせて作成する。

具体的な改訂内容としては、1つ目は単元の入替えを行った。4年生の学習内容である「6暮らしの中の水とごみ」と「7暮らしと安全」を入れ替え、また単元内の水とゴミの順番、消防と警察の順番も入れ替えた。

そして、新しい教科書には「暮らしと安全」の単元に防災の学習が追加されたが、それに対応する内容がなかったため、新たに作成することにした。

まずは座間市役所市民部安全防災課の方に取材し、座間市の防災への備えや、非常時の心構えについての話を聞いた。その中で特に強調されていたのが、「防災3助」である自助、共助、公助である。「自助」とは自分の身は自分で守ること、「共助」とは地域や近所の人たちが協力し助け合うこと、「公助」とは自治体や消防による助けのことである。この中でも特に「自助」が重要であり、普段から家具を固定したり、避難袋や非常食を用意したりしておくことが大事であると同様、座間市の備えを調べるよりも、自分がどのように行動するべきか考える授業になるようページ作りを進めた。

2つ目は写真や図、表やグラフ等の資料を見直した。街並みが変わった相武台前駅周辺の写真、相模川クリーンキャンペーンの写真を入れ替えた。また、スーパーの学習ではすでに閉店してしまっているお店もあったので、そちらの記述を削除した。そして、農家の仕事と暮らしの移り変わりを調べるページでは、年代のずれがあり、暮らしの道具も古い物のままになっていた。そこで年代の幅を大きくし、道具を移動させたり、新しく追加したりした。

3つ目は座間市と交流のある都市の紹介ページを作った。非常時には都市同士で物資や人材の支援が行われており、児童に知っておいてほしい情報と考え、作ることにした。具体的な都市名は姉妹都市「アメリカテネシー州スマーナ市」、友好交流都市「福島県須賀川市」、「秋田県大仙市」の3都市である。それぞれの都市を代表する名所やイベント、今まで行われた交流について記述している。原稿の提出直前に、今まで災害時における相互応援協定を結んでいた、秋田県大仙市と友好交流都市協定を結ぶ予定があることを知り、急遽原稿の内容を変えるハプニングもあった。

4つ目は工業団地「SIP座間インフィニティ」の紹介ページを作った。以前から載せていた「SIP座間」という工業団地の紹介ページに加え、平成26年に新しくできた工業団地についても紹介するページが必

要と考え、夏休み中に各社を取材させていただいた。そこから文字数や児童への分かりやすさを重視して原稿を書き、地図や写真を組み合わせて見やすいページ作りを心がけた。

最後に防災の授業案を作り、指導計画やワークシートを用意した。そして、学校への周知を兼ねて、在籍学校の先生に資料を渡し、活用してもらった。授業案を作るうえで、大切にすることは、教科書の流れに沿っているということと、子どもたちが地震や災害について主体的に考えられるよう、調べ学習を多く取り入れたことである。調べる際に、どの副読本を資料として使ったらいいのかまとめ、授業計画に載せた。そしてワークシートを全時間用意することで活用してもらいやすくなるようにした。

3 成果と課題

成果としては、まず単元の入替えや新たにページを作成することにより、教科書を使って学習しながら、座間はどうなっているかの調べ学習をするための道具として使える副読本になったことである。

また、授業案をつくり実際に先生方に活用して頂くことで、児童の反応や理解度が分かったり、ページの内容や授業案について様々な意見を聞くことができたりした。

一方でさらに活用しやすい副読本にしていくためには、副読本自体のページ数が多くなっているため、資料の精選を進めていく必要がある。また、書き込みができるようなページの作成をしていくことで、ノートとしても使えるようになるとさらに良いのではないかと考えた。

そして、他の単元の授業案を作っていくことでさらに多くの先生方が活用できるようにしていきたい。